

3. 質疑応答 (つづき)



質問：返還時期は、いつ頃の見込みか？

回答：普天間の移設先を5月までに結論づけるというなかで、嘉手納以南の軍用地の問題については、普天間の後に進展するだろう。
まだ国からの具体的な説明は無いが、市としては、普天間よりも後になると予想しています。



質問：「ぎのわん多自然型住宅地」のコンセプトシートについて。
これによると、傾斜地形のなかで、街区（道路に囲まれた区画）の背割り線（建物の背面を境に区画した線）に、歩行者通路を設定しているが、地主は、必ずこういう形にしなければならないのか？
人によっては、地形をうまく利用して、背割り線のところに道路を設置し、自分の敷地に自動車アクセスしたい場合もあるのではないのか？

回答：個人の趣向もあるし、地形条件によって実際には設計はかわってくると思う。
コンセプトシートは、必ずしもこうしてくださいというものではなく、あくまで、勉強会のなかでは一つの形としてこうなった、というものである。
今後は、いろんなパターンを検討していく必要がある。

4. 地主会会長のあいさつ

今年度も勉強会を4回開催し、その結果をもとに、地主の皆さんが何を思っているか、意見を聞いて、跡地利用計画に反映していきたいと思っています。
そういう意味で、ぜひ、アンケート調査にもご協力を願いたいと思います。
そして、来年度のステップへとつなげていきたいと考えます。
確かに、瑞慶覧地区については、具体的な返還期日がまだ見えてきませんが、そのなかで地主にできるのは、しっかりと意見を言って、地主の想いを反映した跡地利用計画をつくることであると考えます。
皆様方のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

今回の懇談会の参加者は29名でした。

今後も、まちづくり活動への参加など、ご理解とご協力をよろしくお願いします。
また、今後のまちづくりの参考とさせていただきたいため、同封の意向調査へのご協力よろしくお願い申し上げます。

ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当：新垣、名幸
TEL：098-893-4401(直通) FAX：098-892-7022

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課

2010年2月 Vol. 24

TEL 098-893-4401 (直通)

《本号の概要》

今年度の活動の経過をご確認下さい。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区は、確実に近づいている返還に向けて、地権者の皆さんを主役にもちづくりを進めています。

今年度も『いつ返還されても、円滑なまちづくりができる用意を整える』ために、まちづくり活動を行っています。

平成22年2月8日(月)には、【平成21年度第2回まちづくり懇談会】を開催し、今年度活動の経過報告を行いました。

本号では、会議の結果を簡単にご報告します。

1. 開会のあいさつ
2. 現在の状況報告
3. 今年度のまちづくり活動について
4. アンケート（意向調査）の実施について
5. 質疑応答
6. 地主会会長のあいさつ



1. 現在の状況報告（市基地政策部より）

現在、普天間の話題が毎日のように出ており、鳩山総理も5月までに結論を出すと言っています。普天間の問題が決着すると、瑞慶覧地区の進展も出てくるだろうと思っています。瑞慶覧地区においては、事業化に係る10の課題がありますが、これについては、関係各省庁に要請しており、各省庁においてはトップ級が対応していることから、今後、検討が進んでいくと考えます。
瑞慶覧地区での検討は、もう10年以上経過しており、長期の取り組みとなっていますが、地道にやっていくことが重要であり、それが返還後、うまく作用するように市としても頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

2. 今年度のまちづくり活動について

- 今年度の活動として、これまでに検討を行ってきた「跡地利用計画」について、より具体的なイメージを持っていただくために「まちの模型」を作成しています。
- 模型により地権者等が立体的な部分を視覚的にイメージすることができ、模型を公表することで今後の地権者合意形成やまちづくり検討へ活かしていきます。



勉強会開催風景

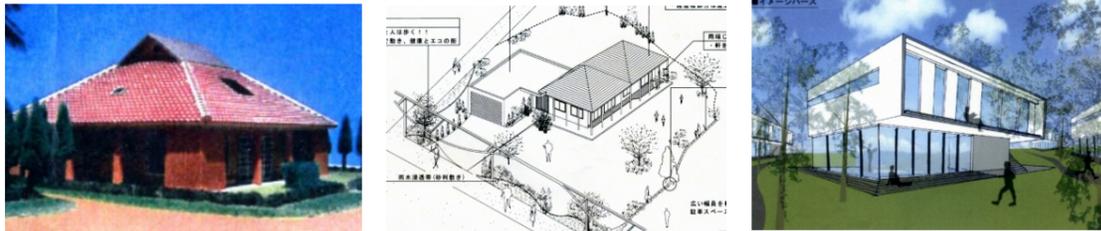


まちづくりの具体化（模型の作成）に向けた視点

昨年度行ったコンペ作品を参考にしながら、以下の視点でまちづくりの具体化について検討しました

■ 建物の使い方について

建物の屋根や外壁、たたずまい等、地区にふさわしい建物について考えていきます。



■ 敷地の使い方について

外柵や庭木等、地区にふさわしい敷地の使い方について考えていきます。



■ 全体の街並・景観について

地区にふさわしい街並み・景観について考えていきます。また、まち全体でまちづくりに関する統一したルールづくりのありかたも考えていきます。

模型（まちづくり）作成のベースとなる【コンセプトシート】を作成しました



コンセプトシートをベースに模型の作成を行います

現在作成中の模型の一部



3. 質疑応答



質問：コンセプトシートのなかに、「エコ住宅」とあるが、具体的にはどのようなものを言っているのか？

回答：地球環境にやさしい住宅ということで、具体的な話はこれからになってくる。基本的な考え方としては、沖縄の旧来の住宅は、強い日差しを遮り、また、風通しを良くする工夫がみられ、そういった良い所を活かす視点で検討していきたい。



質問：電線地中化とはどういったものか？

回答：電線地中化は、電線類を共同溝に収容し、道路に埋設する考え方であり、今回の提案では、はじめからまちづくりに組み込んでいこうというものである。費用はかかるが、景観の向上や、防災、路上スペースの確保などに期待できる。